



かもい

横浜市立鴨居中学校
学校だより 5月号
令和4年5月27日

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/kamoi/>



一生懸命はカッコイイ

副校長 鬼丸 玲子

「薫風の候」という言葉がぴったりの五月晴れに恵まれた5月24日(火)、鴨居中第45回体育祭が行われました。

前日と当日早朝から係生徒によって念入りに準備が進められ、私の中でも体育祭への期待が徐々に高まっていきました。

力強い選手宣誓からスタート。

3年ぶりに5色対決となったこともあって、各色共体育リーダー(特に3年生)を中心とした応援にもかなり熱が入っていました。各色のエール(名乗り)に対して、他の4色から自然と拍手が贈られる温かい雰囲気、競い合う、勝負をかける体育祭でありながらも、学校全体としての一体感を生み出していました。

各種目それぞれ活躍した選手に「賞賛」の拍手が贈られるのはもちろんですが、私が嬉しく感じたのは、短距離走や持久走でラストになったり、リレーで転んでしまったり、アドベンチャーレースでなかなか玉が入らず先へ進めない選手に対しても、惜しめない「激励」の拍手が贈られていることでした。全校種目の玉入れ(一人1玉だけを投げ入れる、という競技)も地味な競技ですが、なかなか味わい深かったです。

最終種目の縦割り対抗リレーは、疾走する各色の代表選手に対して、最後の力を振り絞って一生懸命に応援している姿は、まるで青春ドラマそのものでした。映画ならここで子どもたちの輝く笑顔や手をとりあって喜ぶ姿にエンドロールが重なるなあ、と思っていたら、さらにカーテンコールのおまけつきでした。

閉会式前の得点集計時間に全色の体育リーダーが中心となって、自然発生的に全校応援ダンスが始まったのには驚きでした。どこまでもエネルギッシュで、さわやかで、ステキな子どもたちに感服でした。

閉会の言葉に添えて、私が贈ったのは「一生懸命はカッコイイ」です。

準備に、競技に、運営に、応援に一生懸命だった鴨居中生徒は、無限の可能性を秘めた、まさに「カッコイイ」中学生です。

これからも、授業、行事、委員会活動、部活動、色々な場面で「一生懸命」な姿を期待しています。

鴨居中生にエールを贈ります。「一生懸命はカッコイイ！」



GIGA 開き & デジタルドリル学習開始



5 月に入り、1 年生も Google アカウント等の設定準備が整ったところで、本格的に GIGA 端末の活用を始めました。今年度は全国の小中学校で、文部科学省のデジタル教科書実証実験が行われています。本校では英語、理科が対象になっています。効果が想定される授業場面での利用から始まりますが、年間を通して活用し、成果と課題を検証していくことになります。今後、全国学力学習状況調査の一部も GIGA 端末を使ってオンラインで解答することになる見込みです。日頃から、情報モラルを含めた生徒の情報活用能力を育て、この流れに支障がないように取り組んでいきます。

本校では、朝の学活後 15 分間、デジタルドリル(Monoxer モノグサ)を活用して、知識・技能の定着を図る時間を設けています。曜日ごとに教科は指定されますが、個に応じた学習が進められるようにしています。生徒は自身の理解を自分で把握し、学習を進められるように支援しています。基本的な知識・技能を土台に、授業でより深められることを目指しています。日々の積み重ねを大切に、自分が「できること・わかること」、「できないこと・わからないこと」を把握して、自分がなにを次にすべきか考えられる力を育てていきたいですね。



学校図書館も活用しています



何かとデジタルな取組が目立ちますが、情報活用能力の中には、情報の読み取りも大切にされています。その中でも学校図書館の活用も重要です。

国語の授業では、学校司書と連携し、本の奥付(おくづけ)について学んでいました。奥付に記載されている情報の確かさを証明する事項に言及されていました。生徒は、自分の選んだ本について、筆者は誰なのか、いつ出版されたのか、何回印刷されたのか、図書館の本の分類(日本十進分類法)ではどのように表現されるのか等について学んでいました。紙での情報とネットでの情報、それぞれにメリットとデメリットがあります。その違いを学び、理解することで、正しい情報を選択する力が付くことと思います。

学校図書館には新刊図書も多く入っています。生徒が自分の視野を広げ、新しい世界と出会える空間を目指しています。



教育実習生を迎えて……全校集会 5月10日



5 月 9 日から 4 名の教育実習生を迎えています。4 名とも本校の卒業生です。生徒たちは、ちょっと年上の大学生の中学校時代に興味津々。全校集会では質問大会が繰り広げられました。全校集会もオンラインとなって久しいのですが、生徒会役員の様々な工夫によって、効果的なカメラワークや構成で楽しい生配信となりました。画面割りや音効等どんどんレベルアップしています。質問も緩急があり、教育実習生の回答も硬軟交えてのものでした。

教育実習生、それぞれが教職を目指すきっかけは異なりますが、共通するのは、学校での

教職員との関わりの中で自分が変わった瞬間を実感したことがあるということでした。生徒にとって年の近い教育実習生との関わりで自分のキャリアを考えるきっかけになればいいなと思います。

TBL(チームビルディング学習) 5月13日

5月13日雨の中、1年生のTBLが行われました。「協力してひとつのことを成し遂げる」ことを繰り返して集団形成を図ることを目的としています。これまで、同様の目的で校外学習が行われることがありましたが、コロナ禍もあり、校内で実施しました。

TBLプログラムを考案、推進している団体の力を借り、いつもと違った雰囲気での活動となりました。スタジアムDJによる進行、様々なミッション……笑顔と歓声で1日があっという間に過ぎ去ったようでした。クラスメイトのいつもと違う面を知ることができたでしょうか。

よこはま平和スピーチコンテスト校内選考会 5月19日

「国際平和のために、自分がやりたいこと」を共通テーマとして、SDGsにおける17の達成目標を視点にそれぞれ取り組んでいきたいことを語りました。校内選考には7名の生徒が参加しました。選考用紙から、生徒はクラスで配信される発表を聞きながら、自分との考えの違いや新たな視点に気付いていたようです。代表1名が学校代表として区選考会に参加します。

【発表されたスピーチの題名】

「もったいない」の合言葉	全ての“被害者”に手を差し伸べられる世の中に。
当たり前を知ること	同性婚が認められるために
すべての人に安全で栄養のある食料を	差別のない恋愛ができる社会を目指して
誰もが健康で安心して暮らせる社会に	

第45回 体育祭 5月24日

天候にも恵まれ、青空の下で行うことができました。コロナ禍により保護者・地域の方に自由にいらしていただけず残念でありましたが、生徒たちは学年クラスごとに青・緑・白・赤・黄の5色のチームに分かれ、全力で競技に臨みました。

学校としては行事を行う上で、コロナ禍で制約がある中、短距離走に中距離走、学年種目、アドベンチャーリレーなどの競技内容に工夫をすることや人の動線を考えるなど準備を入念に行いました。また、生徒たちも体育行事実行委員をはじめとして各種委員会の委員が中心となって準備、当日運営を進め、自分たちの行事を創ることをめざしていました。生徒一人ひとりが準備運営に関わることで競技が行われ、体育祭が成り立っていました。その雰囲気を一つにまとめたのが体育リーダーを中心とした応援活動でした。「縦割り対抗リレー」で興奮の絶頂を迎えたのち、閉会式前の得点集計中の体育リーダーたちの一体感を生み出す応援活動には、これからの鴨居中学校のwaveを感じました。

競技生徒も一生懸命、係生徒も一生懸命……一生懸命はカッコイイ！

総合優勝は「緑」(1年1組、2年3組、3年1組)でした。おめでとうございます！